

## 2-4 CompoBus/D

2

ここでは、CompoBus/D コンフィグレータのソフトウェアのインストール方法について説明します。

CompoBus/D コンフィグレータの専用のインストーラを実行して、CompoBus/D コンフィグレータのインストールを行います。



CompoBus/D	ISA
PCMCIA	ISA
PCMCIA	I/O
CompoBus/D	

Windows  
Windows 95

実行中のアプリケーションをすべて終了させます。

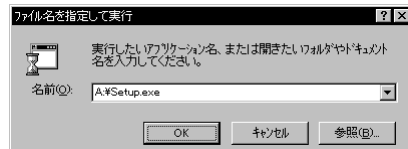
フロッピーディスクドライブに、CompoBus/D コンフィグレータの DISK 1 をセットします。

Windows 95/98 と Windows NT 4.0 の場合は、「スタート」ボタンを押し、「ファイル名を指定して実行」を選択します。

Windows NT 3.51 の場合は、「ファイル」メニューの「ファイル名を指定して実行」を選択します。

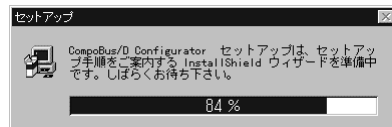
実行したいアプリケーションとして、「A:\Setup.exe」を指定して（下図）、「OK」ボタンをクリックします。

「参照」を押して、A ドライブの「Setup.exe」を選択することもできます。

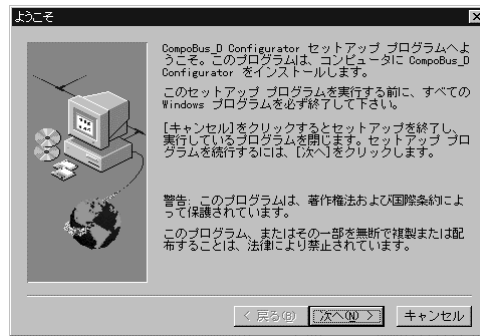


CompoBus/D コンフィグレータのインストールが開始されます。

インストーラがインストール準備を開始します（下図）。



しばらくすると、下図のウィンドウが表示されます。  
内容を確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



インストール先ディレクトリを指定します(下図)。  
表示されているディレクトリのままでいい場合は、そのまま「次へ」ボタンをクリックします。

他のディレクトリにインストールする場合は、「参照」を押して、ディレクトリを指定してから、「次へ」ボタンをクリックします。存在しないディレクトリを指定すると、自動的に作成されます。



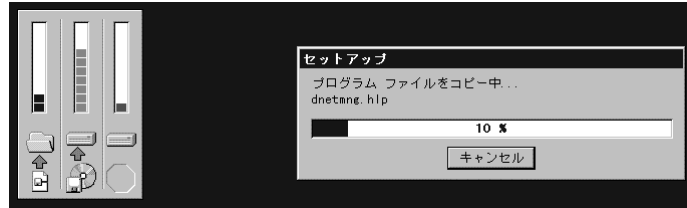
CompoBus/D コンフィグレータを登録するプログラムフォルダ(「スタート」の「プログラム」で表示される CompoBus/D コンフィグレータ用のフォルダ)を指定します(下図)。

指定フォルダの中に「OMRON」フォルダが作成され、その中に登録されます。  
表示されているプログラムフォルダのままでいい場合は、そのまま「次へ」ボタンをクリックします。

他のプログラムフォルダを指定する場合は、既存のプログラムフォルダを選択するか、新たなプログラムフォルダ名を入力してから、「次へ」ボタンをクリックします。



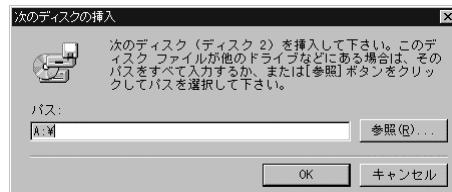
インストールが実行され、ファイルのコピーが開始されます。



2

しばらくすると、DISK 2 への交換が求められます (下図)。

フロッピーディスクドライブに、CompoBus/D コンフィグレータの DISK 2 をセットしてから、「OK」ボタンをクリックします。



その後、手順 と同様に DISK 3 への交換が求められます。

フロッピーディスクドライブに、CompoBus/D コンフィグレータの DISK 3 をセットしてから、「OK」ボタンをクリックします。

CompoBus/D コンフィグレータのインストールが完了すると、プログラムグループフォルダが自動的に作成されます。

その後、CompoBus/D コンフィグレータで使用する ISA ボード・PCMCIA カードのセットアップを行うかどうかを確認するウィンドウが表示されますので (下図)、「はい」ボタンをクリックします。

「いいえ」ボタンをクリックすると、ISA ボード・PCMCIA カードのセットアップを行わず、そのまま終了します。



ISA PCMCIA

CompoBus/D  
3G8xx-DRM21

Configuration

ISA ボード・ PCMCIA カードのセットアップが起動します（下図）。

すでに「Driver250」という名称のカード（ドライバ）が登録されていますので、「編集」ボタンをクリックします。

「新規」ボタンをクリックすると、新たに ISA ボード・ PCMCIA カードのドライバを追加することができます。

「削除」ボタンをクリックすると、選択されている ISA ボード・ PCMCIA カードのドライバが削除されます。



CompoBus/D

	ISA	PCMCIA	
1	ISA	PCMCIA	1

CompoBus/D コンフィグレータで使用する ISA ボード・ PCMCIA カードの I/O ポートアドレス（I/O アドレス）、メモリアドレス、IRQ（割込レベル）の設定を行います（手順 の画面参照）。

ISA ボードの場合は、「I/O アドレス」にはボードのディップスイッチで設定した I/O ポートアドレスを入力し、「メモリアドレス」にはパソコンで未使用の値を入力します。「割り込みレベル」は「なし」に設定します。

PCMCIA カードの場合は、「I/O アドレス」と「メモリアドレス」、「割込レベル」に、PCMCIA カードのセットアップで確認した値を入力します。

必要に応じて「カード名」（ドライバ名）を変更することもできます。

すべての項目を正しく設定して、「OK」ボタンをクリックすると、手順 のウィンドウに戻ります。



CompoBus/D

「OK」ボタンをクリックすると、セットアップが完了します。  
Windows 95/98 の場合は、すぐに CompoBus/D コンフィグレータを実行することができます。「OK」ボタンをクリックします。



Windows NT の場合は、再起動を求めるウィンドウが表示されます。

以上で、CompoBus/D コンフィグレータのインストールは完了です。